



RFL通信

Vol.5 3月号

発行: 特定非営利活動法人 Return to Forest Life
住所: 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2816
FAX: 03-5737-9552
ホームページ: <http://www.returntoforestlife.or.jp/>
E-mail: info@returntoforestlife.or.jp



～秋から冬は森の間伐に最も適した時期です～
冬は木の中の水分が少なく、材として活用する場合は間伐に適している時期です。ワタミの森も冬は休まず活動を続けています。寒い中活動に参加して下さった方にも感謝します！

事務局長メッセージ

活動方針 3 「環境教育への貢献」



RFL第1の活動方針が「不健全な森林の再生」、第2の活動方針が「森林の資源の有効活用」、そして第3の活動方針は「環境教育への貢献」です。

■環境教育活動を大切にしている理由

会員やサポーターになって頂いているワタミグループの従業員の皆様だけでなく、家族の方や友人の方など出来るだけ多くの人に森に来ていただきたいと考え、第3の目的としています。森林再生活動を担うのは人です。一人でも多くの方が気づき、再生活動の環（わ）を広げていくそのきっかけづくりが「環境教育」の役割です。環境教育でもっとも大切なことは、環境負荷を出す“人の意識が変わる”ことだと私は思います。例えばお子様が居る方であれば「地球は先祖からもらったもの」と思うか、「未来の子どもたちから預かっているもの」と思うかで、ずいぶん行動が変わってくると思います。また、実際に森を訪れたことで意識が変わる方を沢山見てきました。新鮮な空気を吸って気持ちがよくなることや、病気の木を間伐をしてその倒れる木の音が思った以上に大きくて驚いたり、みずみずしい切り株の年輪を数え数十年前のことを思ったり、植樹をしてその木が育つ100年先のことを考えるなど、実際に森に来て気づくこと、感じる事が沢山あります。森の落葉が1cmの土に変わるのに100年の歳月を要します。仕事をしていると一分一秒に追われる毎日だと思います。だからこそ、1年に1回は100年の時間軸を感じる森に触れて欲しいと思っています。

そして実際に森にはなかなか行けないという方にも知っていただけるよう情報提供していくことにも努めてまいります。

■森の体験プログラム紹介 **ご参加お待ちしております！**

↓ 下草刈りや間伐作業【病気の木を中心に間伐】

※チェーンソーは認定機関の講習を受けた人のみ使用



↓ 間伐後、針広混合林を目指す場所に広葉樹を植樹

↓ 森の中を散策



(事務局長 小出)

会員活動報告 2012年 2月 活動内容

□2月18日 ワタミの介護（株）とワタミ手づくりマーチャンダイジング（株）から合わせて41名様がボランティア活動に参加

雪が残る中、多くの方にご参加頂き、午前中は3班に分かれて間伐作業を行いました。午後は、今までほとんど手をつけられていなかった森で、下草刈り・ツル切り・間伐を行いました。

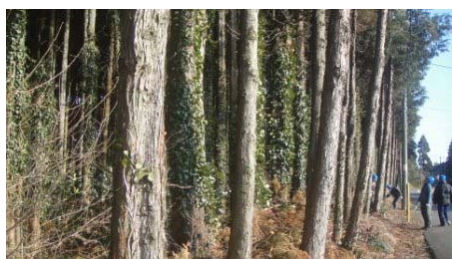
↓【放置された人工林】写真の通り陽射しがほとんど入らず真っ暗で、木も成長できず細いままです。



↓【下草刈り】背丈ほどまで伸びたアズマネザサを刈り、畑につながる道を復活させました。



↓【ツル切り】木にからんだツルの下を切ることで、自然と枯れて木から落ちていきます。



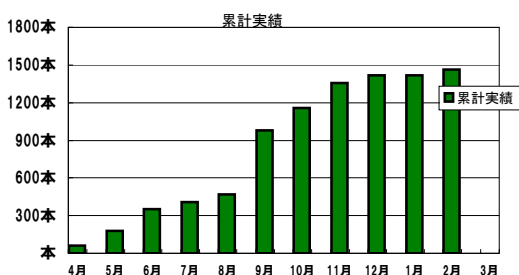
ワタミの森の状況報告【間伐材搬出】

□2月4日 ワタミの森の材をペレット加工していただける地元の業者様のところへ搬出しました。この日は（有）ワタミファームの会員の皆様に搬出活動を行って頂きました。細い木は手で、太い木は機械で運びました。

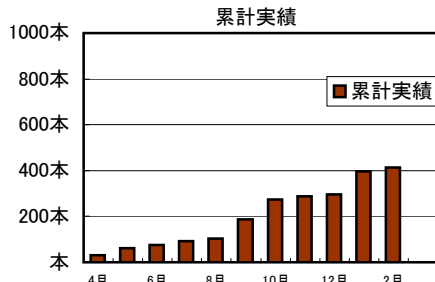
↓これが木質ペレット【燃料】



植樹本数 計画【1500本】と実績



間伐本数 計画【1000本】と実績



2012年RFL会員数（3月1日現在）

正会員	17	人
賛助会員	1,328	人
100円サポーター	2,758	人

ご協力いただき誠にありがとうございます